

原料費調整制度による適用ガス料金の調整について (平成30年3月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成30年3月に適用する1㎡当たりの単位料金を、平成30年2月検針分に適用の料金に比べ0.59円(消費税込)上方に調整させていただきます。

調整は、検針月の3か月前から5か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、平成30年3月検針分の単位料金は、平成29年10月から平成29年12月の平均原料価格に基づき算出しました。

この結果、1か月に32㎡(45MJ/㎡)のガスをお使いになる標準家庭で、平成30年2月検針分に比較して、19円(消費税込)ガス料金が上がります。

供給約款料金表

(消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/㎡)		基準単位料金 (円/㎡)
			平成30年3月適用 単位料金(円/㎡)	平成30年2月適用 単位料金(円/㎡)	
料金表A	0㎡から20㎡まで	799	168.37	167.78	157.09
料金表B	20㎡をこえ50㎡まで	1,305	143.04	142.45	131.76
料金表C	50㎡をこえ200㎡まで	1,602	137.10	136.51	125.82
料金表D	200㎡をこえ450㎡まで	3,155	129.34	128.75	118.06
料金表E	450㎡をこえ750㎡まで	5,303	124.56	123.97	113.28
料金表F	750㎡をこえるもの	10,649	117.44	116.85	106.16

標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量	平成30年3月検針分の料金	平成30年2月検針分の料金	影響額
32㎡ (45MJ/㎡)	5,882円	5,863円	19円

原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	34,700 円/t
平成29年10月～平成29年12月の 平均原料価格 (b)	48,120 円/t
LNG価格	46,560 円/t
LPG価格	66,070 円/t
差 額 (b-a)	13,420 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(34,700円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.08424円(0.078円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	46,560 円/t	×	0.9608
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	66,070 円/t	×	0.0513
			48,124.239 円		
			↓ (10円未満四捨五入)		
			48,120 円/t		

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 34,700円/tからの変動額)

$$48,120 \text{ 円/t} - 34,700 \text{ 円/t} = 13,420 \text{ 円/t}$$

↓ (100円未満切り捨て)

$$13,400 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 13,400 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.08424 = 11.28816 \text{ 円}$$

↓ (小数点第3位以下切り捨て)

$$11.28 \text{ 円}$$